愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育者論		
担当者(Instructors)	高木 芳子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

保育者の役割･倫理、保育士の制度的な位置づけ、保育士の専門性等について理解することを目的とする。得られた知識と実践の関連を考察していく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業資料や教科書をもとに知識を得るだけでなく、課題レポートの作成やグループ討議によって学生が主体的に学ぶ機会を設ける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス 保育者の役割･職務内容	授業の運営方針の確認 保育所保育指針解説をもとに役割や職内容について学ぶ。	□
第2回	保育者の倫理	保育者に必要な倫理について学ぶ。	□
第3回	保育者の資格と責務	保育者の法的･制度的位置づけを学ぶ。資格や責務について理解し、専門職性について考える。	□
第4回	保育者の資格と責務	保育者の求められる資質･能力とは何かを考える。	□
第5回	保育所保育の特徴	養護及び教育が一体的に展開される保育について学ぶ。	□
第6回	家庭および地域の子育て支援	保育所等における子育て支援の基本、地域や関係機関との連携について学ぶ。	□
第7回	保育の計画･実践･省察･評価	保育における具体的なPDCAサイクルのあり方を学ぶ。	□
第8回	保育の質の向上	保育の質を向上させる具体的な手だてについて理解を深める。	□
第9回	保育における職員間の連携･協働	保育がチームプレイであることを学ぶ。	□
第10回	専門職間および専門機関との連携･協働	保育現場において専門機関との連携や協働がどのように行われているかを学ぶ。	□
第11回	地域社会との連携･協働	保育現場において専門機関との連携や協働がどのように行われているかを学ぶ。	□
第12回	関係機関との連携	様々なニーズに対応した保育制度について学ぶ。	□
第13回	資質向上に関する組織的取り組み	資質向上に関する組織的取り組みを学ぶ。	□
第14回	保育士のキャリア形成	保育士のキャリア形成の実際、その背景について学ぶ。	□
第15回	保育所運営	保育者の協働を支えるリーダーシップについて学ぶ。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として教科書を読み、分からない言葉や事柄について調べる（2時間）。事後学習として教科書や授業資料を振り返り知識の定着を図る（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

前学習で行った要約を、授業後に提出する。 授業内で振り返りを兼ねたミニテスト・自己採点を行い、自身の理解度を把握する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	現代の保育に必要な倫理意識を持ち、現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力･判断力を持ち、豊かな表現力を修得できている。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	保育所をはじめとする児童福祉施設での保育に主体的･協働的に携わることのできる幅広い人間力を体得している。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%				30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内のミニテスト・事前学習シートへの取り組み

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	新基本保育シリーズ⑦保育者論	9784805857878
2	保育所保育指針解説	978457814482
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		